

学級レクでは、チーム一丸となりとても頑張っている姿が見れました。負けて悔しくて泣いていたり、勝っていたのに最後の綱引きで同点になったのに誰1人嫌な顔せずに行っていたり成長を感じました。

宿題、家庭学習などやらなくてはいけない事が多く、子供達も家に帰ってから忙しく大変だと思うので、みんな一律の宿題はない方が良いと思います。それぞれのレベルにあったものややりたい事を選んで取り組む方がより自分で勉強する力がつくのではないかと思います。

多感な年頃となり揉め事があったり周囲が気になる事もあるようですが、困った時は先生が程よく気にかけてくれているようで、先生をととても信頼していてクラスも楽しい様子が伝わってきます。

繊細な子の心が壊されることはあってはならないと思います。学校の中の常識は間違っていないのか、一度振り返って欲しいです。壊れた心を治すのは本当に難しいです。

いつもありがとうございます。子供たちが元気浚刺と学校に通えるのは、先生方が温かく見守ってくださるからだ感謝しております。息子も娘も友達が気にかけることが多く、学校生活を通して、思いやりの心が育っているのだと家庭では感じております。学習参観や、学校行事などを拝見させていただくと、学校全体で人と関わることの大切さを子供たちに教えてくださっていることが伝わってきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

いつも丁寧なご指導ありがとうございます。こども達が楽しく学校へ行けていることは先生方の作り出す空気感や学習の喜びからだと思えます。今後もよろしくお願いいたします。

2年生も後半になり、最近は大丸の授業が始まったことがとても楽しいようです。読書も文字の多い小説を楽しんで読むようになりました。ご指導ありがとうございます。生活面では前々から言われていた女子同士の問題が少しずつでできました。学校に行きたくないと言うこともありますが、励ましたり車で送迎したり行く時間を少しずらしたりで休むことはまだありません。小競り合いはお互い様だと思えますので、基本的には本人たちにまかせて様子を見る姿勢です。また学校での様子を見れる授業参観を楽しみにしてきます。

<学校より>

【学習に関すること】

本校は公立の小学校であるため、文部科学省が定める教育課程の基準である学習指導要領に基づき教育活動を行っています。そのため、一定水準の学力を身につけて進級することが望ましいと考えます。子どもたちに身につけさせたい知識や技能、思考力、判断力、表現力を確実に定着させるためには、宿題や家庭学習を活用しながら習熟させていくことが必要不可欠と言えます。学校でも様々な学びを行い、放課後に習い事をし

ているお子さんも昔前に比べ非常に増えています。また、子どもたちが抱える悩みも多様化しています。そのような中、健やかに成長させていくためにどのような教育活動が最適なのか、今後も考えながら学校づくりを進めていきます。

また、重い教科書を運ぶ状況が子どもたちの体に負荷をかけていることは全国的に数年前より指摘されており、文京台小学校においても一部の教科書等を学校保管にする対応を行っています。

【学校生活に関すること】

次年度、子どもたちが自由に大谷グローブを活用できる環境を整えます。

教員の言動によりお子さんが心を痛めることがあってはならないことです。私達教員が子ども一人一人を丁寧に見守ることに努め、今後も多くの教員で子どもたちを見守るとともに子どもたちにとっても「気軽に話をする事ができる先生が何人もいる」と思う事ができる学校づくりをしていきます。

【学校行事に関すること】

昨年度、コロナが5類となり、教育活動に関しても規制がなくなりしました。学習発表会では音楽や劇、体を動かす発表等、6つの学年の発表に偏りがないように構成することとしました。また、どの学年も6年間で必ず劇と音楽のどちらも経験ができるようにしました。昨年度と今年度は2・3・5年が音楽、4・6年が劇、1年生が音楽または劇の要素が入った発表となっています。

運動会についてはそれぞれの種目について取り組むことの意味や価値を子どもたちが受け止められるよう丁寧な指導をしていきます。

【PTA 活動に関すること】

現在、道路沿いの花壇の整備については環境委員とボランティアの保護者の方々をお願いをしている状況になっています。本来であれば学校の環境整備に児童も積極的に関わらるべきですが、教育課程上と安全上の2つの観点から子どもたちが年間を通して花壇整備に関わるためには解決しなければならない課題がたくさんあると考えます。理科の時間に植物を学ぶ時間はありますが、年間の配当時間数や学年ごとに植物の成長から学ぶ学習内容の視点が決められていること、総合的な学習の時間も同様に植物の世話をを行う時間を確保することで他の学びを削る必要がでてきます。また花壇が校舎から遠く、学校の敷地の端にあることから児童の安全を見守る活動の体制も整える必要があります。今後も保護者の皆様には環境美化のお手伝いをいただければ学校として本当に助かります。どうぞよろしくお願いいたします。

【保護者ボランティアに関すること】

コロナ禍による制限が無くなった今年度は、学校の教育活動の様子を知っていただくとともに学校と保護者の皆様の連携により子どもたちの安全確保と教育の充実を図るため保護者ボランティアをお願いさせていただきました。また、多くの場面で北翔大学の学生によるボランティアにも助けていただいています。来年も保護者の皆様には様々な場面でお手伝いをお願いすることを考えていますが、昨今はお仕事をされている方がとても多い現状です。これからも無理のない範囲でお手伝いいただければありがたいです。